



すかがわ架け橋期のカリキュラム「モデルカリキュラム」は、各小学校区内で幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図り、架け橋期におけるこどもたちの学びや生活がスムーズにつながるようにする「各小学校区架け橋期のカリキュラム」のモデルとして作成した。

**キーワード** 見やすく・親しみするため  
にキーワードや取組名・行事名で表記

**すかがわ架け橋期のカリキュラム**

従来の幼保のアプローチカリキュラムや小のスタートカリキュラムの連続性・関連性に配慮

**【ともに学び ともに育ち ともに生きる すかがわの子】**

月 期	5歳児 学びの芽生え					アプローチカリキュラム				スタートカリキュラム				小学校1年生 自覚的な学び																										
	4月		5月			6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月																
	I期		II期			III期		IV期		1学期		2学期		3学期		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
こどもの姿 (探求・探究的)	やってみよう		ドキドキ			ワクワク		チャレンジ		安心・つながり		意欲・挑戦		学びのジヤブへ																										
かかわり (対話的・協同的)	心を働かせて選ぶ 決める 興味 求める		感じる 探す 気づく 表現する			探す あきらめない		新しいことをやってみる 見つける		自分の世界を広げる 踏み出す 不思議だと思ふ なぜだと思ふ		納得するまで探す		上の学年の学びに ワクワク探究する																										
場(環境)	聴く 聴き合う					友だちとちがう意見を聴いて自分も伝える 友だちの良さに気づく		まわりの人に感謝する		ペアでわからないことを聴く 話し合う ペアで関係性をつくる		わからないことを 心の中で考える 見つける 探す		先生の学びや 大人とつながる																										
主な活動内容	連続を感じる活動 好きな遊び 春の自然を見つめよう		運動遊び 水・どろんこ遊び 科学的な遊び 夏・自然を見つめよう			ごっこ遊び・テーマ遊び 運動遊び 表現遊び 秋・自然を見つめよう 冬・自然を見つめよう		小学校での学びを基盤とした主体的な活動 見通しを持った行動		国語科: どうぞよろしく(じこしようがら) 生活科: がっこうだすき(校舎・人との出会い 通学路を歩く) 音楽科: うたうたうた(みんなであそぶ(幼稚園で歌った歌を歌う))		生活科: はなをさかせよう(あさがめ栽培・観察) 図画科: しらせい(な・見せたい) 図画科: がみで(うしろしよう)		生活科: できる(まほうのまほう) 生活科: もらう(2ねんせい)		国語科: ながい(うしろしよう) 図画科: がみで(うしろしよう) 生活科: できる(まほうのまほう) 生活科: もらう(2ねんせい)		生活科: できる(まほうのまほう) 生活科: もらう(2ねんせい)																						
環境構成 援助支援・配慮	友だちや保育者とのつながりを感じ、安心できるように配慮する。		友だちと刺激し合ったり教え合ったりする場を設定する。 ・発見や疑問を調べたり、試したりできる場を設定する。			繰り返し遊べるような材料・用具を準備する。 ・一人一人の良さを知らせたり、いろいろな考えがあることに気づくことができる場を提供する。 ・集団からこまごまできる活動を設定する。 ・共通のめあてを意図した話し合いの場を設定する。		見通しを可視化する。 ・選択肢の多様性を図る。 ・協働スペースを構成する。 ・気持ちを代弁・共感する。 ・動機付けをする。 ・子ども同士の気持ちを理解し、試行錯誤を尊重する。 ・特別な支援や配慮を必要とする子どもへの支援を意図する。 ・多様性への配慮も意図する。		◎学校生活に慣れ、友達や先生と安心して過ごすことができるこどもの姿 ・登校後の流れ、一日の流れなど、見通しをもって活動できるように、表示を掲示する。 ・生活科を中心とした合理的・関連的な授業づくりをする。 ・ペアでの活動や友達との関係性づくりをしやすいように、座席の配置を工夫する。		◎自分の目標、ならいに対して、あきらめずに行動し続けるこどもの姿 ・相手意識をもって様々な活動ができるように、学習の記録や写真などを活用し、これまでの学びを振り返り、今後の見通しを持ったりできるようにする。 ・ペアや友達と共に、自分たちで考えたり話し合ったりすることで、主体性を養うようにする。 ・振り返りの時間を確保することで、達成感や充実感を持てるようにする。		◎自分でできる達成感を味わいながら、新たなことにチャレンジしようとするこどもの姿 ・1年間の学校生活や学びの中で、できるようになったことを共有したり振り返ったりすることで、成長を実感できるようにする。 ・新1年生を迎える計画を立て、準備することで連続への期待や喜びを持てるようにする。																										
幼児小連携 交流活動 職員交流 研修等	つながる 共有 職員間で 幼児の情報共有		授業参観・保育参観・小学校訪問 情報交換 (カリキュラム作成に向けて)			合奏祭 校内演奏 鑑賞		就学時 架け橋期の カリキュラム作成		相互参観(連続性の確認) 相互理解と協働的な関わり		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		保育所 幼稚園 こども園 訪問		教員 交流				
家庭・地域との連携	受け入れる 家庭との連携関係構築		個別懇談 安全と見守り依頼 地域資源の活用(施設・人材) 地域行事への参加 園行事や保育活動での協力依頼 行事の参観 子育て相談 園生活の様子や子どもたちの育ちについて情報発信⇒幼児教育の啓発 家庭との情報共有・連携強化			関係機関との 個別の教育相談		地域学校保健 安全委員会		就学に向けた情報交換・共有		園下見守り サポートの依頼		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		地域学校保健 安全委員会		入学 説明会		

**めざすこどもの姿**  
3つの姿の具体的な内容は、各小学校区で話し合っても構わない。

**共通の視点**  
中央部上段  
①こどもの姿  
②かかわり  
③場  
原則この内容で作成する。

中央部下段  
④主な活動内容  
⑤環境構成・援助支援・配慮  
⑥幼保小連携交流活動 職員交流研修等  
⑦家庭・地域との連携  
については、各小学校区で話し合っても構わない。

**こどもの姿の共有**  
幼保・小での話し合いの土台として「こどもの姿」「かかわり」「場」のそれぞれの内容を共有することから始めることが重要

**活動の可視化**  
遊び(育ち)と学びのつながりを可視化することで、幼保・小それぞれが「活動」の見通しを持てるようにしていく。

**指導・支援・配慮**  
支援者や指導者がその内容を詳しく理解するために文章表記とした。

**幼保や小、地域の特色のある取組**  
これまでの連携・接続の取組や地域の実態を積極的に取り入れる。

**幼保(5歳児)** 5歳児の1年間だけでなく、0歳児からの育ちのつながりに関しても留意する。小学校1年生の内容や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を念頭に、小学校への接続を具体的に意識していく。

**小学校1年生** 幼児期(5歳児)での内容(活動内容や環境構成・援助支援等)や、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえながら、幼児期との接続を意識した指導を工夫する。